

Thinkle操作マニュアル

「Thinkle(シンクル)」は、ワークショップやブレインストーミングにおいて、脳の思考モードを切り替え、新しいアイデアの種を見つけるためのデジタルツールです。

1. デッキの種類と活用シーン

アプリには性質の異なる4つのデッキが搭載されています。目的に合わせて切り替えてください。

オズボーンのチェックリスト (SCAMPER)

アイデアが煮詰まった際、既存の要素を「変形」させるための9つの視点を提供します。

- ✓ 活用シーン: 既存商品の改善、新機能の追加、サービスの多角化。

逆説カード

「あえて失敗させるには？」という最悪のシナリオを考えることで、隠れた課題や本質を浮き彫りにします。

- ✓ 活用シーン: リスク管理の検討、UX（顧客体験）の改善、マンネリ化した会議の活性化。

強制連想

ランダムに組み合わせられた2つの言葉（例：「透明な」×「スマートフォン」）から、強引に新しいコンセプトを導き出します。

- ✓ 活用シーン: ゼロからの新規事業立案、クリエイティブなネーミング。

ミックスモード

すべてのデッキからランダムにカードが表示されます。

- ✓ 活用シーン: 思考を完全にカオスな状態にして、偶発的な発見（セレンディピティ）を楽しみたいとき。

2. 基本操作

1枚表示モード (デフォルト)

- ✓ [次へ]ボタン: ランダムに次のカードを表示します。
- ✓ [戻る]ボタン: 直前のカードに戻ります (履歴を遡ります)。
- ✓ [シャッフル]ボタン: デッキを切り直すアニメーションと共に、新しいカードを表示します。

≡ 一覧表示モード

- ✓ ヘッダーの**「一覧」ボタン**、またはキーボードの G を押すと切り替わります。
- ✓ デッキ内のすべてのカードを俯瞰し、気になるカードをクリックして直接「1枚表示」に移行できます。
- ✓ ※強制連想・ミックスモードでは使用できません。

3. ショートカットキー (プロ向け)

プロジェクター投影時や、スムーズな進行のために以下のキーを活用してください。

キー	動作
Space / →	次のカードを表示
←	前のカードに戻る
G	一覧モード / 1枚表示モード の切り替え
S	シャッフル (アニメーション付)
F	フルスクリーン モードのオン/オフ
1 ~ 4	デッキの切り替え (1:オズボーン, 2:逆説, 3:強制連想, 4:ミックス)

4. 便利な機能

- ✓ 🕒 履歴機能: ヘッダーの時計アイコンをクリックすると、直近10枚の履歴がサムネイル表示されます。
- ✓ 📱 タブレット/スマホ対応: カード部分を左右にスワイプすることで、ページをめくるように操作できます。
- ✓ 🖥️ フルスクリーン: プロジェクター投影時に余計なブラウザのUIを隠し、カードに集中させることができます。

5. ファシリテーションのコツ

1. 制限時間を設ける: 1枚のカードに対して「30秒で3つアイデアを出す」など、制約を加えると効果的です。
2. パスを許容する: 強制連想などでどうしても難しい組み合わせが出た場合は、無理せず「シャッフル」して次へ進みましょう。
3. 逆説からポジティブへ: 逆説カードで「顧客を怒らせる方法」を出した後、必ず「では、その逆（喜ばせる方法）を徹底するには？」とポジティブに変換してください。

6. 注意・免責

本ツールは一般的な情報提供・ワークショップ運営などの補助を目的としています。商用目的での利用・複製・配布はご遠慮ください。

7. 商標

記載の名称は各社の商標または登録商標です。

© RE:SML

8. お問い合わせ

運営：RE:SML

メール：infomail@resml.tokyo